

鹿屋市立東原小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下記の時数を確保し、英語教育を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学1年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校6年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成することを目指しています。

学 年	1年	2年	3年	4年	5年(教科)	6年(教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book	教科書 My Book	

2 本校の教育目標

人権尊重の精神を基調に、自ら学び、心豊かで、心身ともにたくましい子供を育成する。

3 本校の英語教育の実践について

【研究テーマ】

学校教育目標具現化に向けた教科・領域など横断的カリキュラム・マネジメントの充実 I
～ことばのシャワー溢れる学校環境作り～

【来校研修用テーマ】

世界を知り、郷土のよさに気付く子どもを育てる外国語教育の創造
～ことばのシャワーを浴びることで、学びに向かう力を高めよう～

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は好きですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
好き	94%	77%	61%	31%	50%	41%
どちらかというと好き	0%	14%	26%	46%	39%	35%
あまり好きではない	6%	0%	9%	23%	11%	24%
好きではない	0%	9%	4%	0%	0%	0%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
55%	45%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述、一部抜粋)

- 音楽や歌を通して、リズムや音になれて行ってほしい。
- どこの国の人にも物怖じしないコミュニケーション力の育成。
- 人種差別をしない心の育成。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
44%	49%	7%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述、一部抜粋)

- 間違ってもいいのでコミュニケーションをとろうと思う、英語を発する下地ができるとうい。
- 低学年は素直に耳からの情報を入れやすい時期なので、早ければ早いほどよい。
- いろいろな人とのコミュニケーションが上手になってほしい。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
83%	17%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述、一部抜粋)

- 早く英語になれることで、世界に目を向けて行ってほしい。
- 多様性が求められるこれからの時代に英語教育は大変重要である。これからの広がり期待する。

5 今後の取組について

- (1) 外国語・外国の文化にかかわるものを「目で見て」「耳で聞いて」世界を感じる場を設定する。(ことばのシャワーを浴びることができるような環境設定を工夫する)
- (2) 今年から始まった「外国語」のデジタル教材等を使った授業の流し方を教師が理解する。